

講義名	スポーツ科学演習B(ゴルフ)			授業形態	
担当教員	坂井 隆秀	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生
				ナンバリング・コード	SP0200

**主題と概要**

ゴルフは、手軽に行うことのできるスポーツとして以前とは異なり環境が整備されてきた。そのため性別年代を問わず広く楽しむ生涯スポーツのひとつとして捉えられている。しかし皆が気持ちよくゴルフを楽しむためには、技術の習得のみならず、ルール・マナーを守ることにより、お互いが気持ちよくプレーする事や、事故などのトラブルを回避することも学ばなければならない。本授業では、ゴルフの技術、ルール、マナーなど全般的な事を理解する。そして実践のために必要なプレーヤーとして正しい知識の習得を目的とする。

**到達目標**

1. 「健康」獲得の方法を修得できるようになる。
2. 歴史やルール、基礎技術を理解し、説明できるようになる。
3. 基礎技術を修得し、生涯にわたるスポーツ実践の礎とすることができるようになる。

**提出課題**

基本的なクラブのスイング方法について理解し、習得しているかレポートの提出を課します。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法**

提出された課題・レポートに対してコメントをつけて返却します。

**評価の基準**

- \* 授業実施時間数の4回以上欠席したものは単位を認定しない。
- \* 授業中の評価：受講態度・実技点など・・・80%
- \* 期末期の評価：レポート提出・・・20%

**履修にあたっての注意・助言他**

ゴルフ初心者の方を対象に授業を進めていきます。参加者により授業内容を変更する場合があります。授業前・後は必ずマスクを着用することとし、授業中については教員の指示に従うこと。

**教科書**

.使用しない。

**参考図書**


その他

**授業計画**

- 第1回 ガイダンス 本授業の目的、進め方、評価等について  
 予備内容：シラバスの内容を事前に確認し、理解した上でガイダンスに出席すること(120分)  
 復習内容：ガイダンスの内容を再確認し、次回の授業に備えること(120分)  
 第2回 スイングの基本 クラブを正しく握る  
 予備内容：ガイダンスの内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること(120分)  
 復習内容：授業内容を再確認し、理解を深めること(120分)  
 第3回 スイングの基本 正しく立つ方法  
 予備内容：前回の授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること(120分)  
 復習内容：授業内容を再確認し、理解を深めること(120分)  
 第4回 アイアンの基本 ミドルアイアンの実践  
 予備内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること(120分)  
 復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること(120分)  
 第5回 アイアンの基本 ショートアイアンの実践  
 予備内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること(120分)  
 復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること(120分)  
 第6回 アイアンの基本 ロングアイアンの実践  
 予備内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること(120分)  
 復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること(120分)  
 第7回 練習 球童を用いた様々な練習方法を学習する  
 予備内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること(120分)  
 復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること(120分)  
 第8回 クッドの基本 11実技  
 予備内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること(120分)  
 復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること(120分)  
 第9回 クッドの基本 フェアウェークラットの基礎  
 予備内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること(120分)  
 復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること(120分)  
 第10回 エッジの基本 パターへのグリップとアドレス  
 予備内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること(120分)  
 復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること(120分)  
 第11回 エッジの基本 アプローチエッジの実践  
 予備内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること(120分)  
 復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること(120分)  
 第12回 エッジの基本 サンドウェッジの実践  
 予備内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること(120分)  
 復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること(120分)  
 第13回 パッチングの基本 パッチングの基礎  
 予備内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること(120分)  
 復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること(120分)  
 第14回 パッチングの基本 パッチングの実践  
 予備内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること(120分)  
 復習内容：今回までの授業内容を再確認し、理解を深めること(120分)  
 第15回 まとめ  
 予備内容：前回までの授業内容を再確認し、理解した上で授業に参加すること(120分)  
 復習内容：全授業内容を再確認し、理解を深めること(120分)

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

本科目を受講し、目標を達成することで、本学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力の5項目および、健康スポーツ科学のカリキュラムポリシーへ貢献することができる。集約や個人でスポーツ実践へ取り組みの中で、明るく元気な、どのような場所でも物怖しすることなく、誰とでもしっかりと言葉を交わすことができ、油断でもなくまじめに生き抜く力、つまり「本アカ」のびのび「へこたれず」の精神を育むことができる。また、問題やその要因を発見し、自らが確かな取り組みになる。そして、他者に働きかけ、協力して課題へ取り組みることにより、円滑なコミュニケーションをとることができるようになる。生涯にわたってスポーツに関わったり、健康の維持・増進に努めたりすることができるような知識を得て、理解することができる。以上は、全学部・学科の所属学生へ共通している。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**


**実務経験の有無及び活用**


**備考**
